

2017年度第2四半期（2017年4月～6月）連結決算短信

会 社 名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所 属 部	東証第一部
決 算 期	本決算： 年1回（12月） 中間決算： 四半期毎
問 合 せ 先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-6889-7000） 弁護士 門 田 正 行

1. 本国における決算発表日： 2017年7月27日（木曜日）

2. 業 績

	第2四半期（4月～6月の3ヶ月間）			累計額（1月～6月の6ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,428	百万ドル 5,437	% -0.2	百万ドル 10,737	百万ドル 10,888	% -1.4
税引前当期純利益	百万ドル 1,045	百万ドル 834	% 25.3	百万ドル 1,944	百万ドル 1,951	% -0.4
当期純利益	百万ドル 713	百万ドル 548	% 30.1	百万ドル 1,305	百万ドル 1,279	% 2.0
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.80	ドル 1.33	% 35.3	ドル 3.27	ドル 3.08	% 6.2
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.79	ドル 1.32	% 35.6	ドル 3.25	ドル 3.06	% 6.2

配当金の推移		
	当年度（2017年度）	前年度（2016年度）
第1四半期	0.43 ドル	0.41 ドル
第2四半期	0.43	0.41
第3四半期		0.41
第4四半期		0.43
合計	0.86 ドル	1.66 ドル

(注) 原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラック・インコーポレーテッド
株式銘柄コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート室
村上一郎 (Tel:03-3344-0489)

Aflac Incorporated は2017年度第2四半期の業績を発表

2017年度の見通しを確認

2017年度第3四半期現金配当を宣言

ジョージア州、コロンバス - 2017年7月27日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2017年度第2四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、前年同期比横ばいの54億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の5億4,800万ドル(希薄化後1株当たり1.32ドル)から7億1,300万ドル(同1.79ドル)となりました。当四半期の当期純利益は、主として一部のデリバティブ取引及び外国為替取引に係る前年同期比低い損失を反映しています。

前年同期の当期純利益には2億800万ドル(実現益とのネット。希薄化後1株当たり0.51ドル)の税引前資産運用実現損が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、1,900万ドル(実現益とのネット。希薄化後1株当たり0.05ドル)の税引前資産運用実現損が含まれていました。当社は2017年第1四半期より、日本社の運用ポートフォリオにおける一部の米ドル建て投資に係るヘッジ費用の償却額を、事業利益の一部として報告しています。有価証券取引及び減損による当四半期の税引前資産運用実現損は、300万ドル(実現益とのネット)でした。その内訳は、有価証券取引に

よる税引前資産運用実現益が 500 万ドル(実現損とのネット)、減損及び貸倒引当金の変動による税引前資産運用実現損が 800 万ドルとなっています。当四半期の一部のデリバティブ及び外国為替取引に係る税引前資産運用実現損は 1,600 万ドル(実現益とのネット)でした。これらに加えて、当期純利益には、800 万ドルの税引前費用が含まれており、これは、日本社の現地法人化に伴う費用を反映したものです。当四半期の非事業損益に係る法人税軽減額は 1,000 万ドルでした。

以下の説明には、アフラックの米国 GAAP 外の基準による業績指標である事業利益、希薄化後 1 株当たり事業利益、事業ベースの株主資本利益率、ヘッジ費用の償却額及び調整後純資産額への言及が含まれています。これらの指標は、米国 GAAP に沿って計算されておられません。これらの指標は、全般的な経済情勢や事象に影響され、あるいは保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連する傾向にあるため、保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していない可能性があるためと当社が考える項目を除外したものです。当社経営陣は、アフラックの連結ベースの保険事業の財務業績を評価するにあたっては、事業利益、希薄化後 1 株当たり事業利益及び事業ベースの株主資本利益率を用いています。また、これらの指標を表示することは、アフラックの保険事業に内在する利益の原動力や傾向を理解するに際して、極めて重要であると当社経営陣は確信しています。当社は、事業利益の要素であるヘッジ費用の償却額は、日本社における一部の米ドル建て投資のヘッジに係る定期的な為替リスク管理費用を計測するものであり、投資収益(純額)の重要な要素であると確信しています。当社は、経営のコントロールが及ばない市場動向によって変動する株主持分の要素を除外するという点で、調整後純資産額は重要なものであると考えています。当社の米国 GAAP 外の指標の定義と、これらに最も比較可能な米国 GAAP の指標との調整については、本書に添付した表に記載されています。

日本円を機能通貨とする日本社の規模が大きいため、円/ドル為替レートの変動は当社の報告業績に対して著しい影響を与え得ます。円安に推移する期間においては、円貨のドル貨への換算においてはより少ないドル貨で報告されます。円高に推移する期間においては、円貨のドル貨への換算においてはより多くのドル貨で報告されます。このように、円安は、前年同期との比較において当期の業績を押し下げ、円高は、

前年同期との比較において当期の業績を押し上げる効果があります。こうしたことから、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して経済的な意味を持つものというより、むしろアフラックの財務諸表作成に関連する事項であると考えています。また、当社事業の非常に大きな部分が日本で展開されており、為替レートは経営のコントロール外にあるため、アフラックは、日本円を米ドルに換算することの影響を理解することは重要であると確信しています。当期における為替変動の影響を除く事業利益、希薄化後1株当たり事業利益及び事業ベースの株主資本利益率は、全て比較の対象となる前年同期における平均円／ドル為替レートをを用いて計算されており、為替レートの変化のみによってもたらされる、ドルベースの変動を消去したものです。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の108.28円から2.5%円安ドル高の111.10円となりました。年初来6ヶ月間では、平均円／ドル為替レートは、前年同期の111.82円から0.4%円安ドル高の112.31円となりました。当四半期及び年初来6ヶ月間の日本社のドルベースでの成長率は、円安ドル高により抑えられました。

当四半期の事業利益は、前年同期の6億8,300万ドルから、7億3,100万ドルとなりました。当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、前年同期の1.65ドルから10.9%増加し、1.83ドルとなりました。為替レートが円安ドル高に推移したことで、当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、0.02ドル減少しました。円安ドル高の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益は、12.1%増加し、1.85ドルとなりました。事業利益の増加は、主として日本社ならびに米国社における保険金給付金比率の改善を反映しています。さらに当社は、税務年度の終結に係る項目が有利に解決されたことから、法人税軽減額2,250万ドル(希薄化後1株当たり0.05ドル)を認識しました。

2017年年初来6ヶ月間の収益合計は、前年同期の109億ドルから1.4%減少し、107億ドルとなりました。年初来6ヶ月間の当期純利益は、前年同期の13億ドル(希薄化後1株当たり3.06ドル)から13億ドル(同3.25ドル)となりました。2017年上半期の事業利益は、前年同期の14億ドル(希薄化後1株当たり3.32ドル)から14億ドル(同3.50ドル)となりました。円安ドル高による希薄化後1株当たり0.01ドルの不利な影響を除いた2017年年初来6ヶ月間の希薄化後1株当たり事業利益は、5.7%増加しま

した。

運用資産及び現金・預金合計は、2017年3月31日現在の1,205億ドルから、2017年6月30日現在では1,219億ドルとなりました。

当四半期、アフラックは2億ドル相当(270万株)の自己株式を取得しました。本年上半期に、当社は8億ドル相当(1,120万株)の自己株式を取得しました。2017年6月30日現在、当社の自己株式取得承認枠は、1,560万株となっています。

株主持分は、2016年6月30日現在が226億ドル(1株当たり54.98ドル)であったのに対し、2017年6月30日現在では215億ドル(1株当たり54.30ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現益(ネット)は、2016年6月30日現在が64億ドルであったのに対して、当四半期末では52億ドルでした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で13.6%でした。

その他の包括(損)益累計額(AOCI)を除く株主持分は、2016年6月30日現在が171億ドル(1株当たり41.74ドル)であったのに対し、2017年6月30日現在は、181億ドル(1株当たり45.71ドル)でした。事業ベース(AOCIを除く)では、当四半期の平均株主持分に対する年率換算利益率は、為替変動の影響を除いて16.5%、本年上半期では15.7%でした。

日本社

円ベースで、日本社の当四半期の保険料収入(再保険とのネット)は、第三分野保険の保険料収入が増加したものの、当四半期に保険料が払済となった貯蓄性商品を要因に、予想されていた第一分野商品の保険料収入の減少による相殺額がこれを上回ったことから、2.7%減の3,580億円となりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資収益(純額)は、主としてより低い再投資利回りとヘッジ費用の償却額の増加により、4.7%減少しました。米ドル建ての運用ポートフォリオに係るヘッジ費用の償却額は、

前年同期が 3,700 万ドルであったのに対して、当四半期は 5,600 万ドルとなりました。当四半期の収益合計は、前年同期比 3.0%減少し 4,212 億円となりました。当四半期の円ベースの税引前事業利益は、報告ベースでは前年同期比 1.8%増加しましたが、為替変動の影響を除けば、1.0%の増加でした。日本社の税引前事業利益率は、前年同期の 19.9%から 20.9%となりました。

年初来 6 ヶ月間の日本社の円ベースの保険料収入は、前年同期比 1.9%減の 7,209 億円となりました。ヘッジ費用の償却額を除く投資収益(純額)は、5.5%減少し、1,258 億円となりました。円ベースの収益合計は、前年同期比 2.4%減少し 8,489 億円となりました。税引前事業利益は、前年同期比 2.0%減の 1,757 億円となりました。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、円安ドル高により抑えられました。当四半期の再保険後の保険料収入は 5.3%減少し 32 億ドルとなりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資収益(純額)は、7.9%減の 5 億 5,700 万ドルとなりました。前年同期比、収益合計は、5.7%減の 38 億ドル、税引前事業利益は 1.4%減の 7 億 9,100 万ドルとなりました。

本年上半期のドルベースの保険料収入は、前年同期比 2.5%減少し 64 億ドルとなりました。ヘッジ費用の償却額を控除した投資収益(純額)は、6.7%減の 11 億ドルとなりました。前年同期比、収益合計は、3.1%減の 76 億ドル、税引前事業利益は 3.0%減の 16 億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料合計は、16.0%減の 254 億円(2 億 2,900 万ドル)となりました。当四半期のがん保険、医療保険及び給与サポート保険を含む第三分野商品の販売は、5.8%増加し 237 億円となりました。当四半期の WAYS と学資保険を含む第一分野商品の販売は、より金利感応度の高い貯蓄性第一分野商品の販売を減少させるために当社が実行した施策を反映して、77.9%減少しました。

年初来 6 ヶ月間の新契約年換算保険料合計は、22.7%減の 475 億円(4 億 2,300 万ドル)となりました。本年上半期の第三分野商品の販売は、6.6%増加しました。

米国社

当四半期の米国社の保険料収入は 1.9%増加し、14 億ドルとなりました。投資収益(純額)は 2.3%増加して、1 億 8,000 万ドルとなりました。収益合計は 2.1%増の 16 億ドルとなりました。当四半期の米国社の税引前事業利益率は、前年同期の 19.0%から 21.0%となりました。継続率の改善及び有利な保険金給付金比率を反映し、当四半期の税引前事業利益は 13.4%増の 3 億 3,000 万ドルとなりました。

年初来 6 ヶ月間の収益合計は、1.8%増の 31 億ドル、保険料収入は、1.8%増の 28 億ドルとなりました。前年同期比、投資収益(純額)は、2.3%増の 3 億 5,800 万ドル、税引前事業利益は、前年同期比 2.7%増の 6 億 4,000 万ドルとなりました。

米国社の新契約年換算保険料合計は、2.4%増の 3 億 5,600 万ドルとなりました。継続率は、前年同期が 76.7%であったのに対して、当四半期は 77.6%でした。本年上半期、新契約年換算保険料合計は、2.1%増の 6 億 8,900 万ドルとなりました。

現金配当

取締役会は、2017 年度第 3 四半期支払いの四半期現金配当を 1 株当たり 0.43 ドルとすることを発表しました。この現金配当は、2017 年 8 月 23 日の営業時間終了時点の登録株主に対し、2017 年 9 月 1 日に支払われます。

今後の見通し

当社の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「日本社、米国社とも、当四半期の財務業績が堅調な営業成績を反映し、当社の 2017 年度の目標達成に向けて前進を遂げたことを喜ばしく思っています。」

「当社の最大の利益貢献部門である日本社は、当四半期及び本年上半期とも、強力な財務業績を残しました。当四半期の円ベースでの事業ベースの実績は、主として保険金給付金比率の改善を反映し、予想を超えるものとなりました。さらに当社の日本における事業は、引き続き第三分野商品の強力な販売を生み出しています。かねてより申し上げておりますように、第三分野商品の長期の販売成長率は、複利年率で4%から6%の間になるものと、当社は引き続き確信しています。」

「米国での事業に目を転じますと、財務業績及び持続的な強い収益力について喜ばしく思っています。事業ベースの業績は、保険金給付金比率の改善と米国社の基盤への継続的な投資を反映しています。かねてより申し上げておりますように、長期の新契約年換算保険料の成長率については、複利年率で3%から5%の間を見込んでいます。専属代理店とブローカー・チャネルの双方に対して当社が実行している成長戦略は、今後を見通せば正しいものであると引き続き確信しており、当社の長期的な成長目標を達成するために、戦術的な調整を継続していきます。」

「当社は、ご契約者と全てのステークホルダーのため、強い自己資本比率を維持することに、引き続きコミットしています。当社は、この財務力と、配当の増加、自己株式の取得及び事業への再投資といった重点施策との間でバランスをとっています。当社の資本状況が引き続き安定していることを前提に、日本社の財務力により、2017年暦年において、1,200億円から1,400億円の米国社への利益送金を行うことができるものと、当社は引き続き確信しています。2017年度、これも資本状況が引き続き安定していること、及び他に非常に有力な選択肢がないことを前提に、当社は引き続き13億ドルから15億ドルの自己株式取得を考えております。」

「本年下半期も、将来の成長を生み出すために準備された重点施策に引き続き取り組むことから、当社は、特にITと販売促進に関する経費の増加を見込んでいます。しかしながら、ここで、2017年の利益目標を改めて申し上げたいと思います。2016年の加重平均為替レートである1ドル108.70円を前提とし、年間で6.40ドルから6.65ドルの間の安定した希薄化後1株当たり事業利益を計上するという目標に向け、年初

来 6 ヶ月間、当社は順調な業績を挙げました。仮に第 3 四半期の期中平均円／ドル為替レートが 1 ドル 105 円から 115 円で推移した場合、米国 GAAP 外の指標である第 3 四半期の希薄化後 1 株当たり事業利益は約 1.51 ドルから 1.69 ドルの間になるものと当社は予想しています。常にそうであるように、当社のご契約者に対する約束を確実に果たしつつ、1 株当たり利益目標達成のため、懸命に努力を重ねています。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に給付金を現金で迅速にお支払いします。60 年にわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売 No.1 の会社です。先駆的な「ワン・デイ・ペイ」の取り組みにより、米国社は、有効な給付請求の受付、審査手続、承認及び支払いを 1 営業日で行うことができます。日本では、アフラックは医療保険・がん保険の最大手で、4 世帯に 1 世帯がアフラックの保険に加入しています。アフラックの保険は、世界で 5,000 万人以上の方々に保障を提供し、お役立ていただいています。『Ethisphere』誌は、11 年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出しています。また、2017 年、『フォーチュン』誌は、当社を 19 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出するとともに、2017 年には、16 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にも選出しています。2015 年、アフラックのコンタクトセンターは、その電話対応チャネルにおいて、J.D. パワー社から「サービスに対する際立った顧客体験」の認定を受けました。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカー・シンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社及び「ワン・デイ・ペイ」に関するさらに詳しい情報は、aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料 (FAB Supplement) は、aflac.com 「Investors」ページから入手可能です。

当社は、当四半期業績報告の電話会議の様様を 2017 年 7 月 28 日 (金曜日) 午前 9 時 00 分 (米国東部夏時間) に aflac.com 「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated 要約連結損益計算書
 (単位:百万ドル。ただし、株式数及び1株当たりの数字を除く—無監査)

6月30日に終了した3ヶ月間:

	2017	2016	増減率
収益合計	5,428	5,437	-0.2%
保険金給付金(純額)	3,039	3,254	-6.6%
新契約費及び事業費合計	1,344	1,349	-0.4%
税引前当期純利益	1,045	834	25.3%
法人税等	332	286	
当期純利益	713	548	30.1%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.80	1.33	35.3%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.79	1.32	35.6%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	396,433	411,853	-3.7%
希薄化後	399,348	414,326	-3.6%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.43	0.41	4.9%

Aflac Incorporated 要約連結損益計算書
 (単位:百万ドル。ただし、株式数及び1株当たりの数字を除く—無監査)

6月30日に終了した6ヶ月間:

	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>増減率</u>
収益合計	10,737	10,888	-1.4%
保険金給付金(純額)	6,091	6,279	-3.0%
新契約費及び事業費合計	2,702	2,658	1.7%
税引前当期純利益	1,944	1,951	-0.4%
法人税等	639	672	
当期純利益	1,305	1,279	2.0%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.27	3.08	6.2%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.25	3.06	6.2%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	398,768	415,301	-4.0%
希薄化後	401,695	417,623	-3.8%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.86	0.82	4.9%

Aflac Incorporated 要約連結貸借対照表

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

6月30日現在:

	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>増減率</u>
資産:			
運用資産及び現金・預金	121,896	125,983	-3.2%
繰延新契約費	9,340	9,552	-2.2%
その他の資産	4,158	5,752	-27.7%
資産合計	135,394	141,287	-4.2%
負債及び株主持分:			
保険契約準備金	98,458	103,066	-4.5%
社債等	5,252	5,009	4.9%
その他の負債	10,181	10,662	-4.5%
株主持分	21,503	22,550	-4.6%
負債及び株主持分合計	135,394	141,287	-4.2%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	395,999	410,115	-3.4%

米国会計基準(GAAP)外の指標の定義

アフラックは、本書に含まれている米国会計基準(GAAP)外の指標を以下の通り定義している。

・事業利益は、社債等に関連する支払金利ならびに外貨建て投資に関するヘッジ費用の償却額を含み、有価証券取引、減損、貸倒引当金の変動及び一部のデリバティブ及び外国為替取引活動から生じた資産運用実現損益、非経常的損益ならびにその他の非事業損益といった予測不能あるいは経営のコントロールが及ばない一部の項目を当期純利益から除外したものである。非経常的損益及びその他の非事業損益は、当社の保険事業の通常の業務に関係しない数少ない事象及び取引に関連する項目で構成されており、アフラックの基礎となる業績を反映していない。

・1株当たり事業利益(基本あるいは希薄化後)は、当該期間の事業利益を期中の加重平均発行済株式数(基本あるいは希薄化後)で除したものである。

・当期の為替変動の影響を除く事業ベースの株主資本利益率は、米国GAAPによる当期純利益合計から調整された、円/ドル為替レート変動の影響を除く事業利益を、その他の包括利益累計額(AOCI)を除く平均株主持分で除したものである。これと比較可能な米国GAAPの指標は、株主資本利益率(ROE)であり、これは当期純利益と平均株主持分を用いて決定される。

・ヘッジ費用の償却額は、日本社の運用ポートフォリオにおける一部の米ドル建て資産に係る為替リスクをヘッジするために、為替先物取引を用いて生じる費用を表すものである。これらのヘッジ費用の償却額は、取引開始時の直物為替レートと為替先物取引における約定先物レートとの差により得られ、ヘッジ期間にわたって、定額で認識される。ヘッジ費用の償却額と比較可能な米国GAAPの財務指標はない。

・調整後純資産額は、米国GAAPに基づく純資産額からその他の包括利益累計額(AOCI)(米国GAAPに基づき貸借対照表に記録されたもの)を控除したものである。

当期純利益から事業利益への調整¹

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

6月30日に終了した3ヶ月間:

	2017	2016	増減率
当期純利益	713	548	30.1%
事業利益への調整項目:			
資産運用実現(益)損:			
有価証券取引及び減損	3	11	
一部のデリバティブ及び外国為替に係る(益)損 ^{2,3}	16	197	
その他及び非経常的(益)損 ³	8	-	
事業利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用 ²	-10	-73	
事業利益	731	683	7.0%
当期における為替変動の影響 ⁴	9	非適用	
当期における為替変動の影響を除く事業利益 ⁵	739	683	8.2%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.79	1.32	35.6%
事業利益への調整項目(単位:ドル):			
資産運用実現(益)損:			
有価証券取引及び減損	0.01	0.03	
一部のデリバティブ及び外国為替に係る(益)損 ^{2,3}	0.04	0.48	
その他及び非経常的(益)損 ³	0.02	-	
事業利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用 ²	-0.02	-0.18	
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.83	1.65	10.9%
当期における為替変動の影響 ⁴ (単位:ドル)	0.02	非適用	
当期における為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり事業利益 ⁵ (単位:ドル)	1.85	1.65	12.1%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²当年度の表示と一貫性を保つため、過年度の金額は、外貨建て投資に関連するヘッジ費用の償却額を事業利益の要素として区分する方法への変更を反映するよう改定されている。

³外国為替に係る益(損)は、当期の表示と一貫性を保つため、全期間にわたってその他の益(損)からデリバティブ及び外国為替に係る益(損)へと組み替えられている。

⁴為替変動については、その影響額を当期に限定するため、前期の影響額は「非適用」とした。

⁵当期における為替変動の影響を除く金額は、比較対象の前年同期における平均円/ドル為替レートをを用いて計算されており、これにより、為替レートの変化のみによってもたらされたドルベースの変動を消去している。

当期純利益から事業利益への調整¹

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

6月30日に終了した6ヶ月間:

	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>増減率</u>
当期純利益	1,305	1,279	2.0%
事業利益への調整項目:			
資産運用実現(益)損:			
有価証券取引及び減損	20	-66	
一部のデリバティブ及び外国為替に係る(益)損 ^{2,3}	108	234	
その他及び非経常的(益)損 ³	28	-	
事業利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用 ²	-55	-59	
事業利益	1,406	1,388	1.3%
当期における為替変動の影響 ⁴	3	非適用	
当期における為替変動の影響を除く事業利益 ⁵	1,409	1,388	1.5%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	3.25	3.06	6.2%
事業利益への調整項目(単位:ドル):			
資産運用実現(益)損:			
有価証券取引及び減損	0.05	-0.16	
一部のデリバティブ及び外国為替に係る(益)損 ^{2,3}	0.27	0.56	
その他及び非経常的(益)損 ³	0.07	-	
事業利益への調整項目に係る法人税(軽減額)費用 ²	-0.14	-0.14	
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	3.50	3.32	5.4%
当期における為替変動の影響 ⁴ (単位:ドル)	0.01	非適用	
当期における為替変動の影響を除く希薄化後1株当たり事業利益 ⁵ (単位:ドル)	3.51	3.32	5.7%

¹端数処理のため合計は計数の総和と必ずしも一致しない。

²当年度の表示と一貫性を保つため、過年度の金額は、外貨建て投資に関連するヘッジ費用の償却額を事業利益の要素として区分する方法への変更を反映するよう改定されている。

³外国為替に係る益(損)は、当期の表示と一貫性を保つため、全期間にわたってその他の益(損)からデリバティブ及び外国為替に係る益(損)へと組み替えられている。

⁴為替変動については、その影響額を当期に限定するため、前期の影響額は「非適用」とした。

⁵当期における為替変動の影響を除く金額は、比較対象の前年同期における平均円/ドル為替レートをを用いて計算されており、これにより、為替レートの変化のみによってもたらされたドルベースの変動を消去している。

米国GAAPに基づく純資産額から調整後純資産額への調整

(単位:百万ドル。ただし、株式数及び1株当たりの数字を除く—無監査)

6月30日現在:

	2017	2016	増減率
米国GAAPに基づく純資産額 ¹	21,503	22,550	
減算:その他の包括利益累計額(AOCI)	3,401	5,432	
調整後純資産額 ²	18,102	17,118	
期末発行済株式数(単位:千株)	395,999	410,115	
1株当たりの米国GAAPに基づく純資産額(単位:ドル)	54.30	54.98	-1.2%
1株当たりの調整後純資産額(単位:ドル)	45.71	41.74	9.5%

¹米国GAAPに基づく純資産額は貸借対照表に記録された株主持分の合計額を示している。

²調整後純資産額は、米国GAAPに基づく純資産額からその他の包括利益累計額(米国GAAPに基づき貸借対照表に記録されたもの)を控除したものである。

米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE)から事業ベースのROEへの調整 (為替変動の影響を除く)

6月30日に終了した3ヶ月間:

	2017	2016
米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE) ¹	13.6%	10.3%
加算: 事業利益と当期純利益との差異 ²	0.3%	2.5%
減算: 為替変動の影響 ^{3,4}	-0.1%	-
加算: その他の包括利益累計額(AOCI)除外の影響 ⁵	2.7%	3.1%
為替変動の影響を除く事業ベースの株主資本利益率(ROE)	16.5%	16.0%

¹ROEは当期純利益(年換算)を平均株主持分で除したものである。

²当期純利益から事業利益への調整に関する別表を参照のこと。

³為替変動の影響は、損益計算書上のすべての円建ての項目を、比較対象の前年同期における加重平均為替レートで再計算して求めている。この影響は、再計算後の事業利益の、報告された事業利益に対する差異である。

⁴比較の目的で、前期の加重平均為替レートを用いて当期の損益を再計算し、当期における為替変動の影響を消去する。これにより、この財務指標の公平な比較を行うことができる。

⁵平均株主持分から米国GAAPの平均AOCIのすべての構成要素を除外する。

米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE)から事業ベースのROEへの調整 (為替変動の影響を除く)

6月30日に終了した6ヶ月間:

	<u>2017</u>	<u>2016</u>
米国GAAPに基づく株主資本利益率(ROE) ¹	12.4%	12.7%
加算: 事業利益と当期純利益との差異 ²	1.0%	1.1%
減算: 為替変動の影響 ^{3,4}	-	-
加算: その他の包括利益累計額(AOCI)除外の影響 ⁵	2.3%	2.4%
為替変動の影響を除く事業ベースの株主資本利益率(ROE)	15.7%	16.2%

¹ROEは当期純利益(年換算)を平均株主持分で除したものである。

²当期純利益から事業利益への調整に関する別表を参照のこと。

³為替変動の影響は、損益計算書上のすべての円建ての項目を、比較対象の前年同期における加重平均為替レートで再計算して求めている。この影響は、再計算後の事業利益の、報告された事業利益に対する差異である。

⁴比較の目的で、前期の加重平均為替レートを用いて当期の損益を再計算し、当期における為替変動の影響を消去する。これにより、この財務指標の公平な比較を行うことができる。

⁵平均株主持分から米国GAAPの平均AOCIのすべての構成要素を除外する。

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率―無監査)

2017年6月30日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入(純額) ³	-3.3%	-2.7%
投資収益(純額) ⁴	-5.2%	-4.5%
保険金給付金及び事業費合計	-5.0%	-4.4%
事業利益	7.0%	8.2%
希薄化後1株当たり事業利益	10.9%	12.1%

¹事業利益及び希薄化後1株当たり事業利益については、前記の定義を参照のこと。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同一の円/ドル為替レートを用いて算出した。

³出再保険控除後。

⁴外貨建て投資に係るヘッジ費用の償却額を減算。

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率―無監査)

2017年6月30日に終了した6ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入(純額) ³	-1.3%	-1.0%
投資収益(純額) ⁴	-4.2%	-3.9%
保険金給付金及び事業費合計	-1.9%	-1.6%
事業利益	1.3%	1.5%
希薄化後1株当たり事業利益	5.4%	5.7%

¹事業利益及び希薄化後1株当たり事業利益については、前記の定義を参照のこと。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同一の円/ドル為替レートを用いて算出した。

³出再保険控除後。

⁴外貨建て投資に係るヘッジ費用の償却額を減算。

2017年1株当たり事業利益¹予想

<u>円/ドル加重平均為替レート</u>	<u>希薄化後 1株当たり事業利益</u>	<u>為替の影響</u>
100	\$6.73 - \$6.98	\$ 0.33
105	\$6.53 - \$6.78	\$ 0.13
108.70 ²	\$6.40 - \$6.65	\$ -
115	\$6.19 - \$6.44	\$ -0.21
120	\$6.04 - \$6.29	\$ -0.36

¹ 1株当たり(基本あるいは希薄化後)事業利益は、米国会計基準外の財務指標であり、当該期間の事業利益を2016年及び2017年について示された加重平均発行済株式数(基本あるいは希薄化後)で除したものである。SEC Regulation S-KのItem 10(e)(1)(i)(B)に示される「不合理な努力」の例外規定により、この財務指標に関して、最も比較可能なGAAPの指標に対する定量的な調整計算は示されていない。最も比較可能なGAAPの指標、すなわち1株当たり利益に関する予測情報は、不合理な努力なしに得ることはできない。それは、これらの調整項目が予測不能で制御不能な性質を有しており、予測のためには不合理な努力を要求されるからであり、当社は、投資家にとって有意でない幅広い範囲の予測計数に帰結すると確信している。この理由から、当社はこうした情報の予想される重要性は低いものと確信している。

² 実際の2016年の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供するよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役職員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」「見通し」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・ 世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・ 重要な金利リスクに対するエクスポージャー
- ・ 日本に対する事業の集中
- ・ 円/ドル為替レートの変動
- ・ 日本支社の法的な子会社への変更の実行の失敗
- ・ 当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性

- ・ 保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定と実績の乖離
- ・ 情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・ 金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 保険業界における継続的な変化
- ・ 患者の個人情報及び情報セキュリティに関する規則の遵守の失敗
- ・ 広範囲な規制及び法律又は政府当局による規制の変更
- ・ 当社の投資先の債務不履行及び信用格付けの引き下げ
- ・ 優秀な募集人と社員を引きつけ、維持する能力
- ・ その他の金融機関の信用力の低下
- ・ 子会社がアフラック・インコーポレーテッドに配当金を支払う能力
- ・ 当社の財務力と発行体格付けの引き下げ
- ・ 当社に固有なリスク管理方針及び手続の限界
- ・ 特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・ 運用資産の評価に適用される異なる判断
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・ 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ 米国及び(又は)日本の会計基準の変更
- ・ 当社の事業を離れた出来事によってもたらされる消費者からの信頼の喪失
- ・ 年金及びその他退職給付プランに係る前提の変更による費用の増加と収益性の低下
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 内部統制又はコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続の失敗
- ・ 米国証券取引委員会に随時提出される、アフラック・インコーポレーテッドの届出に記載されたその他のリスク及び不確実性



FOR IMMEDIATE RELEASE

**Aflac Incorporated Announces Second Quarter Results,
Affirms 2017 Outlook,
Declares Third Quarter Cash Dividend**

COLUMBUS, Ga. – July 27, 2017 – Aflac Incorporated today reported its second quarter results.

Total revenues were \$5.4 billion during the second quarter of 2017, which is flat compared with the second quarter of 2016. Net earnings were \$713 million, or \$1.79 per diluted share, compared with \$548 million, or \$1.32 per share a year ago. Net earnings in the second quarter of 2017 primarily reflect lower losses related to certain derivatives and foreign currency activities, compared with second quarter 2016.

Net earnings in the second quarter of 2017 included pretax net realized investment losses of \$19 million, or \$.05 per diluted share on a pretax basis, compared with pretax net losses of \$208 million, or \$.51 per diluted share a year ago. Beginning in the first quarter of 2017, the company began reporting amortized hedge costs associated with certain U.S. dollar investments in the Japan portfolio as part of operating earnings. Pretax net realized losses from securities transactions and impairments for the second quarter amounted to \$3 million and were composed of pretax net realized investment gains from securities transactions of \$5 million, and pretax realized investment losses from impairments and change in loan loss reserves of \$8 million. Pretax net realized investment losses from certain derivative and foreign currency activities in the quarter were \$16 million. Net earnings also included a pretax charge of \$8 million, reflecting Japan branch conversion costs. The income tax benefit on non-operating items in the quarter was \$10 million.

The following discussion includes references to Aflac's non-U.S. GAAP performance measures, operating earnings, operating earnings per diluted share, operating return on equity, amortized hedge costs, and adjusted book value. These measures are not calculated in accordance with U.S. GAAP. The measures exclude items that the company believes may obscure the underlying fundamentals and trends in insurance operations because they tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with insurance operations. Management uses operating earnings, operating earnings per diluted share, and operating return on equity to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations on a consolidated basis and believes that a presentation of these measures is vitally important to an understanding of the underlying profitability drivers and trends of Aflac's insurance business. The company believes that amortized hedge costs, which are a component of operating earnings, measure the periodic currency risk management costs associated with hedging a portion of Aflac Japan's U.S. dollar-denominated investments and are an important component of net investment income. The company considers adjusted book value important as it excludes components of shareholders' equity that fluctuate due to market movements that are outside management's control. Definitions of the company's non-GAAP measures and reconciliations to the most comparable U.S. GAAP measures are provided in the schedules accompanying this release.

Due to the size of Aflac Japan, where the functional currency is the Japanese yen, fluctuations in the yen/dollar exchange rate can have a significant effect on reported results. In periods when the yen weakens, translating yen into dollars results in fewer dollars being reported. When the yen strengthens, translating yen into dollars results in more dollars being reported. Consequently, yen weakening has the effect of suppressing current period results in relation to the comparable prior period, while yen strengthening has the effect of magnifying current period results in relation to the comparable prior period. As a result, the company views foreign currency translation as a financial reporting issue for Aflac rather than an economic event to the company or shareholders. Because a significant portion of the company's business is conducted in Japan and foreign exchange rates are outside of management's control, Aflac believes it is important to understand the impact of translating Japanese yen into U.S.

dollars. Operating earnings, operating earnings per diluted share, and operating return on equity, all excluding current period foreign currency impact are computed using the average yen/dollar exchange rate for the comparable prior year period, which eliminates dollar based fluctuations driven solely from currency rate changes.

The average yen/dollar exchange rate in the second quarter of 2017 was 111.10, or 2.5% weaker than the average rate of 108.28 in the second quarter of 2016. For the first six months, the average exchange rate was 112.31, or .4% weaker than the rate of 111.82 a year ago. Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the second quarter and first six months were suppressed as a result of the weaker yen/dollar exchange rate.

Operating earnings in the second quarter were \$731 million, compared with \$683 million in the second quarter of 2016. Operating earnings per diluted share increased 10.9% to \$1.83 in the quarter, compared with \$1.65 a year ago. The weaker yen/dollar exchange rate decreased operating earnings per diluted share by \$.02 for the second quarter. Excluding the impact of the weaker yen, operating earnings per diluted share increased 12.1% to \$1.85. The increase in operating earnings primarily reflects improved benefit ratios in both Japan and the U.S. Additionally, the company recognized a tax benefit of \$22.5 million, or approximately \$.05 per diluted share, resulting from favorable resolution of items related to tax year closings.

For the first six months of 2017, total revenues were down 1.4% to \$10.7 billion, compared with \$10.9 billion in the first half of 2016. Net earnings were \$1.3 billion, or \$3.25 per diluted share, compared with \$1.3 billion, or \$3.06 per diluted share, for the first six months of 2016. Operating earnings for the first half of 2017 were \$1.4 billion, or \$3.50 per diluted share, compared with \$1.4 billion, or \$3.32 per diluted share, in 2016. Excluding the negative impact of \$.01 per share from the weaker yen, operating earnings per diluted share increased 5.7% for the first six months of 2017.

Total investments and cash at the end of June 2017 were \$121.9 billion, compared with \$120.5 billion at March 31, 2017.

In the second quarter, Aflac repurchased \$200 million, or 2.7 million of its common shares. For the first half of the year, the company purchased \$800 million, or 11.2 million of its common shares. At the end of June, the company had 15.6 million shares available for purchase under its share repurchase authorizations.

Shareholders' equity was \$21.5 billion, or \$54.30 per share, at June 30, 2017, compared with \$22.6 billion, or \$54.98 per share, at June 30, 2016. Shareholders' equity at the end of the second quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$5.2 billion, compared with a net unrealized gain of \$6.4 billion at June 30, 2016. The annualized return on average shareholders' equity in the second quarter was 13.6%.

Excluding accumulated other comprehensive income (AOCI), shareholders' equity was \$18.1 billion, or \$45.71 per share at June 30, 2017, compared with \$17.1 billion, or \$41.74 per share, at June 30, 2016. On an operating basis, excluding AOCI, the annualized return on average shareholders' equity on a currency-neutral basis for the second quarter was 16.5% and for the first half of the year was 15.7%.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's premium income, net of reinsurance, decreased 2.7% in the second quarter to ¥358.0 billion, with growth in third sector premium more than offset by an anticipated reduction in first sector premium due to savings products reaching premium paid-up status in the quarter. Net investment income, net of amortized hedge costs, declined 4.7%, primarily due to lower reinvestment rates and increased amortized hedge costs. Amortized hedge costs on the U.S. dollar investment portfolio totaled \$56 million quarter to date, as compared to \$37 million in the previous year. Total revenues were down 3.0% to ¥421.2 billion in the second quarter. Pretax operating earnings in yen for the quarter increased 1.8% on a reported basis and 1.0% on a currency-neutral basis. The pretax operating profit margin for the Japan segment was 20.9%, compared with 19.9% in the prior year.

For the first six months, premium income in yen was ¥720.9 billion, or 1.9% lower than a year ago. Net investment income, net of amortized hedge costs, decreased 5.5% to ¥125.8 billion. Total revenues in yen were down 2.4% to ¥848.9 billion. Pretax operating earnings were ¥175.7 billion, or 2.0% lower than a year ago.

Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the second quarter were suppressed as a result of the weaker yen/dollar exchange rate. Premium income, net of reinsurance, decreased 5.3% to \$3.2 billion in the second quarter. Net investment income, net of amortized hedge costs, decreased 7.9% to \$557 million. Total revenues declined by 5.7% to \$3.8 billion. Pretax operating earnings declined 1.4% to \$791 million.

For the first half of the year, premium income in dollars was \$6.4 billion, or 2.5% lower than a year ago. Net investment income, net of amortized hedge costs, decreased 6.7% to \$1.1 billion. Total revenues were down 3.1% to \$7.6 billion. Pretax operating earnings were \$1.6 billion, or 3.0% lower than a year ago.

In the second quarter, total new annualized premium sales decreased 16.0% to ¥25.4 billion, or \$229 million. Third sector sales, which include cancer, medical and income support products increased 5.8% to ¥23.7 billion in the quarter. Total first sector sales, which include products such as WAYS and child endowment, were down 77.9% in the quarter, reflecting the company's actions to reduce the sale of first sector savings products that are more interest-sensitive.

For the first six months of the year, new annualized premium sales declined 22.7% to ¥47.5 billion, or \$423 million. Third sector sales increased 6.6% in the first half of the year.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income increased 1.9% to \$1.4 billion in the second quarter. Net investment income was up 2.3% to \$180 million. Total revenues increased 2.1% to \$1.6 billion. The pretax operating profit margin for the U.S. segment was 21.0%, compared with 19.0% a year ago. Reflecting improved persistency and a favorable benefit ratio, pretax operating earnings in the quarter were \$330 million, an increase of 13.4%.

For the first six months, total revenues were up 1.8% to \$3.1 billion and premium income rose 1.8% to \$2.8 billion. Net investment income increased 2.3% to \$358 million. Pretax operating earnings were \$640 million, 2.7% higher than a year ago.

Aflac U.S. total new annualized premium sales increased 2.4% in the quarter to \$356 million. Additionally, persistency in the quarter was 77.6%, compared with 76.7% a year ago. For the first half of the year, total new sales were up 2.1% to \$689 million.

DIVIDEND

The board of directors declared the third quarter cash dividend. The third quarter dividend of \$.43 per share is payable on September 1, 2017, to shareholders of record at the close of business on August 23, 2017.

OUTLOOK

Commenting on the company's results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "We are pleased that our second quarter financial results in both Japan and the United States reflected solid performance and advanced our progress toward achieving the company's objectives for 2017.

"Aflac Japan, our largest earnings contributor, generated strong financial results both in the quarter and for the first half of the year. In yen terms, results on an operating basis were better than expected for the quarter, resulting primarily from improved benefit ratios. Additionally, our operation in Japan continued to

produce strong third sector sales results. As we've communicated, we continue to believe the long-term compound annual growth rate for third sector product sales will be in the range of 4% to 6%.

"Turning to our U.S. operations, we are pleased with the financial performance and continued strength in profitability. Our results on an operating basis reflect improved benefit ratios and ongoing investment in our platform. As we've communicated, we anticipate a long-term compound annual growth rate of 3% to 5% in new annualized premium sales. As we look ahead, we continue to believe the strategy for growth we implemented in both our career and broker channels is the right one, and we will continue to make tactical adjustments to meet our long-term growth objectives.

"We remain committed to maintaining strong capital ratios on behalf of our policyholders and all stakeholders. We balance this financial strength with a focus on increasing the dividend, repurchasing shares and reinvesting in our business. We continue to believe our financial strength in Japan positions us to repatriate in the range of ¥120 to ¥140 billion to the U.S. for the calendar year 2017, assuming capital conditions remain stable. We continue to anticipate that we'll repurchase in the range of \$1.3 to \$1.5 billion of our shares in 2017, which also assumes stable capital conditions and the absence of compelling alternatives.

"In the second half of the year, as we continue to focus on initiatives designed to drive future growth, our expectation is to increase spending, particularly related to IT and promotional expenditures. However, I want to reiterate our 2017 earnings guidance. Our six month results put us on track to produce stable operating earnings per diluted share of \$6.40 to \$6.65, assuming the weighted-average exchange rate in 2016 of 108.70 yen to the dollar. If the yen averages 105 to 115 to the dollar for the third quarter, we would expect operating earnings, a non-U.S. GAAP measure, to be approximately \$1.51 to \$1.69 per diluted share in the third quarter. As always, we are working very hard to achieve our earnings-per-share objective while also making sure we deliver on our promise to policyholders."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the leader in voluntary insurance sales at the worksite. Through its trailblazing One Day PaySM initiative, Aflac U.S. can receive, process, approve and disburse payment for eligible claims in one business day. In Japan, Aflac is the leading provider of medical and cancer insurance and insures 1 in 4 households. Aflac insurance products help provide protection to more than 50 million people worldwide. For 11 consecutive years, Aflac has been recognized by Ethisphere as one of the World's Most Ethical Companies. In 2017, Fortune magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work for in America for the 19th consecutive year and in 2017 included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 16th time. In 2015, Aflac's contact centers were recognized by J.D. Power by providing "An Outstanding Customer Service Experience" for the Live Phone Channel. Aflac Incorporated is a Fortune 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac and One Day PaySM, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EDT) on Friday, July 28, 2017.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 5,428	\$ 5,437	(.2)%
Benefits and claims, net	3,039	3,254	(6.6)
Total acquisition and operating expenses	1,344	1,349	(.4)
Earnings before income taxes	1,045	834	25.3
Income taxes	332	286	
Net earnings	\$ 713	\$ 548	30.1%
Net earnings per share – basic	\$ 1.80	\$ 1.33	35.3%
Net earnings per share – diluted	1.79	1.32	35.6
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	396,433	411,853	(3.7)%
Diluted	399,348	414,326	(3.6)
Dividends paid per share	\$.43	\$.41	4.9 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

SIX MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 10,737	\$10,888	(1.4)%
Benefits and claims, net	6,091	6,279	(3.0)
Total acquisition and operating expenses	2,702	2,658	1.7
Earnings before income taxes	1,944	1,951	(.4)
Income taxes	639	672	
Net earnings	\$ 1,305	\$ 1,279	2.0%
Net earnings per share – basic	\$ 3.27	\$ 3.08	6.2%
Net earnings per share – diluted	3.25	3.06	6.2
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	398,768	415,301	(4.0)%
Diluted	401,695	417,623	(3.8)
Dividends paid per share	\$.86	\$.82	4.9 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

JUNE 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$121,896	\$ 125,983	(3.2) %
Deferred policy acquisition costs	9,340	9,552	(2.2)
Other assets	4,158	5,752	(27.7)
Total assets	\$135,394	\$ 141,287	(4.2) %
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 98,458	\$ 103,066	(4.5) %
Notes payable	5,252	5,009	4.9
Other liabilities	10,181	10,662	(4.5)
Shareholders' equity	21,503	22,550	(4.6)
Total liabilities and shareholders' equity	\$135,394	\$ 141,287	(4.2) %
Shares outstanding at end of period (000)	395,999	410,115	(3.4)%

DEFINITIONS OF NON-U.S. GAAP FINANCIAL MEASURES

Aflac defines the non-U.S. GAAP measures included in this earnings release as follows:

- Operating earnings includes interest cash flows associated with notes payable and amortized hedge costs related to foreign currency denominated investments, but excludes certain items that cannot be predicted or that are outside of management's control, such as realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, change in loan loss reserves and certain derivative and foreign currency activities; nonrecurring items; and other non-operating income (loss) from net earnings. Nonrecurring and other non-operating items consist of infrequent events and activity not associated with the normal course of the company's insurance operations and do not reflect Aflac's underlying business performance.
- Operating earnings per share (basic or dilutive) are the operating earnings for the period divided by the weighted average outstanding shares (basic or dilutive) for the period presented.
- Operating return on equity excluding current period foreign currency impact is calculated using operating earnings excluding the impact of the yen/dollar exchange rate, as reconciled with total U.S. GAAP net earnings, divided by average shareholders' equity, excluding AOCI. The comparable U.S. GAAP measure is return on average equity (ROE) as determined using net earnings and average total shareholders' equity.
- Amortized hedge costs represent costs incurred in using foreign currency forward contracts to hedge the foreign exchange risk of a portion of U.S. dollar-denominated assets in the company's Japan segment investment portfolio. These amortized hedge costs are derived from the difference between the foreign currency spot rate at time of trade inception and the contractual foreign currency forward rate, recognized on a straight line basis over the term of the hedge. There is no comparable U.S. GAAP financial measure for amortized hedge costs.
- Adjusted book value is the U.S. GAAP book value, less Accumulated Other Comprehensive Income ("AOCI" as recorded on the U.S. GAAP balance sheet).

RECONCILIATION OF NET EARNINGS TO OPERATING EARNINGS¹
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
Net earnings	\$ 713	\$ 548	30.1%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses:			
Securities transactions and impairments	3	11	
Certain derivative and foreign currency (gains) losses ^{2,3}	16	197	
Other and non-recurring (income) loss ³	8	–	
Income tax (benefit) expense on items excluded from operating earnings ²	(10)	(73)	
Operating earnings	731	683	7.0%
Current period foreign currency impact ⁴	9	N/A	
Operating earnings excluding current period foreign currency impact ⁵	\$ 739	\$ 683	8.2%
Net earnings per diluted share	\$ 1.79	\$ 1.32	35.6%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses:			
Securities transactions and impairments	.01	.03	
Certain derivative and foreign currency (gains) losses ^{2,3}	.04	.48	
Other and non-recurring (income) loss ³	.02	–	
Income tax (benefit) expense on items excluded from operating earnings ²	(.02)	(.18)	
Operating earnings per diluted share	1.83	1.65	10.9%
Current period foreign currency impact ⁴	.02	N/A	
Operating earnings per diluted share excluding current period foreign currency impact ⁵	\$ 1.85	\$ 1.65	12.1%

¹ Amounts may not foot due to rounding.

² To conform to current year presentation, prior-year amounts have been revised to reflect the change in methodology of classifying the amortized hedge costs related to foreign currency denominated investments as a component of operating earnings.

³ Foreign currency gains (losses) for all periods have been reclassified from other income (loss) to derivative and foreign currency gains (losses) for consistency with current period presentation.

⁴ Prior period foreign currency impact reflected as "N/A" to isolate change for current period only.

⁵ Amounts excluding current period foreign currency impact are computed using the average yen/dollar exchange rate for the comparable prior-year period, which eliminates dollar-based fluctuations driven solely from currency rate changes.

RECONCILIATION OF NET EARNINGS TO OPERATING EARNINGS¹
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

SIX MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
Net earnings	\$ 1,305	\$ 1,279	2.0%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses:			
Securities transactions and impairments	20	(66)	
Certain derivative and foreign currency (gains) losses ^{2,3}	108	234	
Other and non-recurring (income) loss ³	28	–	
Income tax (benefit) expense on items excluded from operating earnings ²	(55)	(59)	
Operating earnings	1,406	1,388	1.3%
Current period foreign currency impact ⁴	3	N/A	
Operating earnings excluding current period foreign currency impact ⁵	\$ 1,409	\$ 1,388	1.5%
Net earnings per diluted share	\$ 3.25	\$ 3.06	6.2%
Items impacting net earnings:			
Realized investment (gains) losses:			
Securities transactions and impairments	.05	(.16)	
Certain derivative and foreign currency (gains) losses ^{2,3}	.27	.56	
Other and non-recurring (income) loss ³	.07	–	
Income tax (benefit) expense on items excluded from operating earnings ²	(.14)	(.14)	
Operating earnings per diluted share	3.50	3.32	5.4%
Current period foreign currency impact ⁴	.01	N/A	
Operating earnings per diluted share excluding current period foreign currency impact ⁵	\$ 3.51	\$ 3.32	5.7%

¹ Amounts may not foot due to rounding.

² To conform to current year presentation, prior-year amounts have been revised to reflect the change in methodology of classifying the amortized hedge costs related to foreign currency denominated investments as a component of operating earnings.

³ Foreign currency gains (losses) for all periods have been reclassified from other income (loss) to derivative and foreign currency gains (losses) for consistency with current period presentation.

⁴ Prior period foreign currency impact reflected as "N/A" to isolate change for current period only.

⁵ Amounts excluding current period foreign currency impact are computed using the average yen/dollar exchange rate for the comparable prior-year period, which eliminates dollar-based fluctuations driven solely from currency rate changes.

RECONCILIATION OF U.S. GAAP BOOK VALUE TO ADJUSTED BOOK VALUE
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

JUNE 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>	<u>% Change</u>
U.S. GAAP book value ¹	\$ 21,503	\$ 22,550	
Less: AOCI	3,401	5,432	
Adjusted book value ²	\$ 18,102	\$ 17,118	
Number of outstanding shares at end of period (000)	395,999	410,115	
U.S. GAAP book value per common share	\$ 54.30	\$ 54.98	(1.2)%
Adjusted book value per common share	45.71	41.74	9.5

¹ U.S. GAAP book value represents total shareholders' equity as recorded on the balance sheet.

² Adjusted book value is the U.S. GAAP book value, less AOCI (as recorded on the U.S. GAAP balance sheet).

RECONCILIATION OF U.S. GAAP RETURN ON EQUITY (ROE) TO OPERATING ROE
(EXCLUDING IMPACT OF FOREIGN CURRENCY)

THREE MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>
U.S. GAAP ROE ¹	13.6%	10.3%
Add: differences between operating earnings and net earnings ²	.3	2.5
Less: impact of foreign currency ^{3,4}	(.1)	–
Add: impact of excluding AOCI ⁵	2.7	3.1
Operating ROE, excluding impact of foreign currency	16.5%	16.0%

¹ ROE is calculated by dividing net earnings (annualized) by average shareholders' equity.

² See separate reconciliation of net income to operating earnings.

³ Impact of foreign currency is calculated by restating all yen components of the income statement to the weighted average yen rate for the comparable prior year period. The impact is the difference of the restated operating earnings compared to reported operating earnings.

⁴ For comparative purposes, current period income is restated using the weighted average prior period exchange rate, which eliminates the foreign currency impact for the current period. This allows for equal comparison of this financial measure.

⁵ Excludes all U.S. GAAP components of average AOCI from average shareholders' equity

RECONCILIATION OF U.S. GAAP RETURN ON EQUITY (ROE) TO OPERATING ROE
(EXCLUDING IMPACT OF FOREIGN CURRENCY)

SIX MONTHS ENDED JUNE 30,	<u>2017</u>	<u>2016</u>
U.S. GAAP ROE ¹	12.4%	12.7%
Add: differences between operating earnings and net earnings ²	1.0	1.1
Less: impact of foreign currency ^{3,4}	–	–
Add: impact of excluding AOCI ⁵	2.3	2.4
Operating ROE, excluding impact of foreign currency	15.7%	16.2%

¹ ROE is calculated by dividing net earnings (annualized) by average shareholders' equity.

² See separate reconciliation of net income to operating earnings.

³ Impact of foreign currency is calculated by restating all yen components of the income statement to the weighted average yen rate for the comparable prior year period. The impact is the difference of the restated operating earnings compared to reported operating earnings.

⁴ For comparative purposes, current period income is restated using the weighted average prior period exchange rate, which eliminates the foreign currency impact for the current period. This allows for equal comparison of this financial measure.

⁵ Excludes all U.S. GAAP components of average AOCI from average shareholders' equity

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
 (SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED JUNE 30, 2017	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Net premium income ³	(3.3)%	(2.7)%
Net investment income ⁴	(5.2)	(4.5)
Total benefits and expenses	(5.0)	(4.4)
Operating earnings	7.0	8.2
Operating earnings per diluted share	10.9	12.1

¹ Refer to previously defined operating earnings and operating earnings per diluted share.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

³ Net of reinsurance

⁴ Less amortized hedge costs on foreign investments

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
 (SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

SIX MONTHS ENDED JUNE 30, 2017	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Net premium income ³	(1.3)%	(1.0)%
Net investment income ⁴	(4.2)	(3.9)
Total benefits and expenses	(1.9)	(1.6)
Operating earnings	1.3	1.5
Operating earnings per diluted share	5.4	5.7

¹ Refer to previously defined operating earnings and operating earnings per diluted share.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

³ Net of reinsurance

⁴ Less amortized hedge costs on foreign investments

2017 OPERATING EARNINGS PER SHARE¹ SCENARIOS

<u>Weighted-Average Yen/Dollar Exchange Rate</u>	<u>Operating Earnings Per Diluted Share</u>	<u>Foreign Currency Impact</u>
100	\$ 6.73 - 6.98	\$.33
105	6.53 - 6.78	.13
108.70 ²	6.40 - 6.65	—
115	6.19 - 6.44	(.21)
120	6.04 - 6.29	(.36)

¹ A non-GAAP financial measure, operating earnings per share (basic or dilutive) are the operating earnings for the period divided by the weighted average outstanding shares (basic or dilutive) for the period presented in 2017 and 2016. In reliance on the “unreasonable efforts” exception in Item 10(e)(1)(i)(B) of SEC Regulation S-K, a quantitative reconciliation to the most comparable GAAP measure is not provided for this financial measure. Forward-looking information with regard to the most comparable GAAP financial measure, earnings per share, is not available without unreasonable effort. This is due to the unpredictable and uncontrollable nature of these reconciling items, which would require an unreasonable effort to forecast and we believe would result in such a broad range of projected values that would not be meaningful to investors. For this reason, we believe that the probable significance of such information is low.

² Actual 2016 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a “safe harbor” to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This report contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by Company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as “expect,” “anticipate,” “believe,” “goal,” “objective,” “may,” “should,” “estimate,” “intends,” “projects,” “will,” “assumes,” “potential,” “target”, “outlook” or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; exposure to significant interest rate risk; concentration of business in Japan; foreign currency fluctuations in the yen/dollar exchange rate; failure to execute or implement the conversion of the Japan branch conversion to a legal subsidiary ; limited availability of acceptable yen-denominated investments; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; interruption in telecommunication, information technology and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; ongoing changes in our industry; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; extensive regulation and changes in law or regulation by governmental authorities; defaults and credit downgrades of our investments; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; decline in creditworthiness of other financial institutions; subsidiaries’ ability to pay dividends to Aflac Incorporated; decreases in our financial strength or debt ratings; inherent limitations to risk management policies and procedures; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector; differing judgments applied to investment valuations; ability to effectively manage key executive succession; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, acts of terrorism and damage incidental to such events; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; loss of consumer trust resulting from events external to our operations; increased expenses and reduced profitability resulting from changes in assumptions for pension and other postretirement benefit plans; level and outcome of

litigation; failure of internal controls or corporate governance policies and procedures; and other risks and uncertainties described from time to time in Aflac Incorporated's filings with the SEC.

Analyst and investor contact – David A. Young, 706.596.3264 or 800.235.2667; FAX: 706.324.6330 or dyoung@aflac.com
Media contact – Catherine H. Blades, 706.596.3014; FAX: 706.320.2288 or cblades@aflac.com

###